

宮嶋新市政誕生 合併17年ー市政の転換点・新しい展望へ

「活力とあたたかさあふれる、住み続けられる地域づくり」

神立-市街地の新しいまちづくり・農村部過疎対策の推進を!

えい えい かい しょう

永栄偕俔

発行所 設楽 健夫
TEL 029-832-1962



政令市へ
広域行政の推進
土浦市との
合併協議再開を

令和4年7月10日した。新しい市政
新しい市長に宮嶋が始まりました。
謙氏が当選し、25公約がその指針と
日初登庁となりまなります。

活力とあたたかさあふれる市政に みやじま謙市長6つの公約

- ◎愛される図書館・文化交流センター整備
場所は市街地中央に、周辺緑地を「いこいの広場」に
- ◎乗合タクシーの値下げ・拡充
常磐線横断、協同病院乗り入れ、AI配車で予約なし乗車
- ◎安心して産み・育てられるまち
産科・母子医療体制、小学校30人学級、通学自転車助成
- ◎住み続けられる地域づくり
旧小学校区ごとに交流拠点・避難所確保、見守り強化
- ◎生活道路の積極整備
道路の修繕促進、「あぶない・せまい」の徹底解消
- ◎農水産業の徹底支援
農道拡張・農業組織化、荒廃農地解消

検討されてきた(図書館)複合交流施設 2階建てプランのパス
中心市街地土地利用基本構想<業務報告書>令和2年3月



文化・交流センターを考える会 2022年4月
代表 かすみがうら市稲吉東 梅澤 良正
請願書「複合交流拠点施設整備用地取得費11億円は一時ストップして、市民を交えて計画を再検討すること」

正々堂々 八正道 正見 正思惟 正語 正業 正命 正精進 正念 正定

（茨城新聞解説抜粋）『「市民が主体」支持集める。』
宮嶋さんは「今の市政はなれあいの政治」とし市民の意見を聞く仕組みの導入を訴えた。JR神立駅周辺に

市が計画している複合交流拠点の施設の変更や、乗合タクシー拡充、小学校ごとの交流拠点設置などを公約に掲げた。地盤の霞ヶ浦地区だけでなく大栗田のJR神立駅周辺でも支持を広がった。子育て支援充実、市民が主体・市民に寄り添った政治」

「6つの公約は市民の声のかたまり」
総務省は人口減少と財政力指数の悪化を理由に霞ヶ浦地区を過疎地に指定しました。

合併17年、合併の筆頭事業であった東西を結ぶ跨線橋や下稲吉中心市街地の図書館の建設、区長会の地区協議会、公民館制度は合併前の制度に留まり改善案は遅延として進まず、放置されて来た。坪井市政12年の市政の歪みに対して、地域の方々は生活を守るため

「複合交流センターのあり方」は宮嶋候補は「中心市街地にふさわしい愛される図書館・文化交流センター整備」を一貫して訴え続けている。

宮嶋候補は存続するも改善された乗合タクシーの拡充を掲げて、農村地域の切実な公共交通改善案を一貫した。

を強調、合併17年を経て人口約5千人減り、神立駅近くに人口が集まり霞ヶ浦地区は過疎地域になり地域間格差も浮き彫りになる。格差解消へ「地域毎に市民の声を聴く場を設ける」市民の寄り添った政治行政への手腕が問われる。

市が計画している複合交流拠点の施設の変更や、乗合タクシー拡充、小学校ごとの交流拠点設置などを公約に掲げた。地盤の霞ヶ浦地区だけでなく大栗田のJR神立駅周辺でも支持を広がった。子育て支援充実、市民が主体・市民に寄り添った政治」

市が計画している複合交流拠点の施設の変更や、乗合タクシー拡充、小学校ごとの交流拠点設置などを公約に掲げた。地盤の霞ヶ浦地区だけでなく大栗田のJR神立駅周辺でも支持を広がった。子育て支援充実、市民が主体・市民に寄り添った政治」

市が計画している複合交流拠点の施設の変更や、乗合タクシー拡充、小学校ごとの交流拠点設置などを公約に掲げた。地盤の霞ヶ浦地区だけでなく大栗田のJR神立駅周辺でも支持を広がった。子育て支援充実、市民が主体・市民に寄り添った政治」

市が計画している複合交流拠点の施設の変更や、乗合タクシー拡充、小学校ごとの交流拠点設置などを公約に掲げた。地盤の霞ヶ浦地区だけでなく大栗田のJR神立駅周辺でも支持を広がった。子育て支援充実、市民が主体・市民に寄り添った政治」

合併17年、合併の筆頭事業であった東西を結ぶ跨線橋や下稲吉中心市街地の図書館の建設、区長会の地区協議会、公民館制度は合併前の制度に留まり改善案は遅延として進まず、放置されて来た。坪井市政12年の市政の歪みに対して、地域の方々は生活を守るため

「複合交流センターのあり方」は宮嶋候補は「中心市街地にふさわしい愛される図書館・文化交流センター整備」を一貫して訴え続けている。

宮嶋候補は存続するも改善された乗合タクシーの拡充を掲げて、農村地域の切実な公共交通改善案を一貫した。

宮嶋候補は存続するも改善された乗合タクシーの拡充を掲げて、農村地域の切実な公共交通改善案を一貫した。

◎ 1乗車400円→600円	◎ 65歳以上障害者・介護者 (高校生は割引除外)
1乗車200円→1乗車300円	◎ 未就学児 無料

◎ 高齢者値下げ	◎ 協同病院乗入れ
◎ 常磐線横断利用	◎ 高校生通学対策
◎ あじさい号復活	

公民館は霞ヶ浦地区では旧小学校区を基本に組織されているが千代田地区は旧小学校区単位で組織されているが、霞ヶ浦地区では下大津地区、牛渡地区に留まる。

複合交流施設11億円土地購入差止め裁判

説明 大川隆司代理人

5月20日結審 判決は9月9日午後1時10分

「市の保有地『稲吉ふれあい公園』を活用すれば土地購入費用はいらぬ」

(住民)原告の主張

「日立の土地を11億円で購入することは不合理的である、1500㎡位の複合交流施設を造るのに日立の旧筑波ハウス跡地を購入するのは筋が通っていない。」

1500㎡位の施設を造るのであれば、広大な土地を買わなくても以前、出張所や保育所があった市の保有地『稲吉ふれあい公園』を活用すれば土地購入費用はいらぬ。

そこに建物を建てると公園面積が少なくなるというのであれば、下水道施設として調整池をつくるため5000㎡の土地を購入する計画が決まっている。

そこを大水が出ない時は公園として使う、そうすれば別に困ることはない。

市が11億円も出して土地を買うということに対して、『待って下さい、筋道が通りませんよ。』『1500㎡位の施設を造るのであれば、市の保有地があるではないか。』

それに対して(坪井市長)被告の方は最後の最後、稲吉ふれあい公園に造る訳にはいきませんと準備書面で主張しました。

「その理由の一つは、ふれあい公園は車によるアクセスが不便だ。もう一つは、調整池を公園として使用するのには不適切だ、それは地下水があり湿っている場所であり公園とはできない、しないと言ってきた。」

それに対して、(住民)原告側は「それはないでしょう」ということを第3準備書面で主張しました。

車によるアクセスが不便だと言うが、大体中学校区で造る施設ですから中学生が通える範囲となる。図書館と行政施設を兼ねる施設です。どのような市民が対象になるのかと言

えは、中学校区にお住まいの方、神立駅から降りる方、2種類の方を想定している。

神立駅から降りる方は、主には歩いたり自転車でも通う人だろう、下稲吉中学校区にお住いで車で乗り付ける方がいないとは言わないが、そのような市民が多いわけではない。ですから歩きや自転車でも来る方を想定すべきです。車によるアクセスがふれあい公園よりも旧筑波ハウス跡地が良いと言っても比較そのものが無意味だ。

もともと候補地15か所は、神立駅から歩いて行ける範囲を探していた。

今になって急に旧筑波ハウス跡地を持ち上げるために、車によるアクセスを俄かに言っているが、中学校区に造る施設を車によるアクセスをセールスポイントにするのは不合理だ。

もう一つ、「調整池を普段、公園に使える」と当初市が語っていた。旧筑波ハウス跡地の土地が登場してからは、手の平を返すように「あそこは公園に使えない」と言ってきた。

「地下水がにじみ出る」?だけど、川の水を(洪水対策で)逃がすため遊水地が多方面で出ています。普段は野球場とかテニス場とかに使っている。河川にある土地はみんな低くて湿った所にある。水っぽい土地に造るのは当たり前です。今も畑ですから工夫すれば、普段は公園に使うことが出来ます。

また「日曜・休日など夕方使いたいという市民に対応できない。」と言ってきた。

しかし、複合交流施設の一環だから普段は管理職員がいる訳です。管理する職員に担当させることができるではないか。「管理者いない」というのも成り立たない。

結局、ダメだダメだと言っているが成り立たない。だからこの訴訟は単純な議論です。

たない。だからこの訴訟は単純な議論です。

住民訴訟には珍しく9月に提訴しましたが裁判所としては前回4月の弁論時に、次回結審することになるとしていましたが、予定通り結審になったという早い展開になった。

ところが被告側は、原告の準備書面(3)に文句を付けたい事があるからとして『結審しないでくれ』と頑張ったのですが、結審となった。

裁判所は、『言いたい事があれば書面を出すのは良いが審理は今日で終わりにする』となり、判決を9月9日になりました。

5月20日報告...

コンプライアンス違反

有害物質検出の責任はどこの

売り主の土壌調査結果報告書提出を求める。

11億円土地購入2.2分の土壌分析報告書が7月行政から提出された。(下表)規定値以下としているが、ヒ素化合物を含む9種類の有害物質が検出されている。

しかも土壌調査結果報告書は(株)日立インダストリアルプロダクツが実施した土壌調査書を市が閲覧し作成した報告書であり、証拠として売主が提出したものではないことが明かになった。売り主の責任ある「土壌調査結果報告書」の提出が求められる。

一般質問で求めている資料提出要求項目①埋設物調査結果概要資料のエビデンス(証拠)全部、

②日立製作所の責任ある2.9ヘクタールの第二種有害物質9項目に関する報告書 全部、

③日立製作所が2.9ヘクタールの土壌分析防止法に基づいて具あるいは関係機関に提出している関係書類全部、

④日立製作所との協議、会議録全部

下表は坪井市政が売り主の調査報告書を閲覧し作成した報告書の抜粋。検出された有害物質9項目の生成原因が不明であり、今後の有害物質による瑕疵責任は売り主に存在する。市は市民の現在と未来の安全安心のために「売り主から第二種有害物質9項目に関する報告書の提出」を求めなければならない。

7 調査結果一覧 下表のとおり。

Table with 10 columns: 有害物質名 (カドミウム及びその化合物, シアン化合物, 鉛及びその化合物, 六価クロム化合物, ひ素及びその化合物, 水銀及びその化合物, セレン及びその化合物, ふっ素及びその化合物, ほう素及びその化合物), 溶出量, 含有量. Rows include 基準値, 定量下限値, and 127検体の最大値.

※1 「検出されないこと」とは、定量下限値を下回ることをいう。
※2 「定量下限値」とは、検知が可能な最小値のこと。

合併17年⇒(総務省)霞ヶ浦地区過疎指定(人口減少と財政力指数悪化)

暮らしていける地域の緊急過疎対策を!

公正・公平・公明な農村部過疎対策基本計画を(過疎対策特措法事業の推進)

総務省資料抜粋

事業のイメージ

過疎地域内の遊休施設



改修

過疎地域内の課題解決に対応した施設へ



過疎地域持続的発展事業 霞ヶ浦と筑波山に囲まれた「霞ヶ浦地区・千代田中地区・神立駅中心市街地」安心安全の元気な地域づくりと3地区の交流

過疎根本対策・農林水産業と神立中心市街地の未来づくりへ、語り合いを始めましょう!

総務省は人口減少と財政力指数の悪化を理由に霞ヶ浦地区を過疎地に指定しました。

合併17年の市政の結果です。

◎過疎緊急対策
高校に進学すると家族は神立駅までの車で送迎が始まります。

乗合タクシーで「高校通学が出来る」「協同病院まで直接行ける」「常磐線を超えて

霞ヶ浦庁舎に停車所と待合室、自転車置き場が出来れば利用者は中継地点として活用することが出来ます。

南小学校の放課

「後児童クラブは窮乏な保育園教室を使っています。閉鎖された保健センターを活用できれば安心して生徒が生活できるようになります。」

閉校小学校の牛渡、志土庫小学校体育館の耐震工事、避難所や投票所にも有効活用が出来ます。

穴倉小学校はウェルネスプラザになり

の看板が下がってありますが公民館室はあります。

①集落ネットワーク形成事業
②持続的発展事業
③集落再編整備事業
④遊休施設の再編整備事業

4本の柱は各地区が住みやすい元気づけて参りましょう。

【行政の役割】
子供とお年寄り、人と文化を大切に、歴史・地域を参りましょう。

国は過疎地域特措法持続的発展支援事業「4本柱」

公共交通ネットワーク、小学校等遊休施設・廃校舎、

国は過疎地域特措法持続的発展支援事業「4本柱」

公共交通ネットワーク、小学校等遊休施設・廃校舎、

~具体的な事業例~

①地域医療の確保

- 医師確保事業(診療所開設費用補助)
- ICTを活用した遠隔医療

②生活交通の確保

- コミュニティバス、デマンドタクシー等の運行
- バス路線維持に向けた民間バス事業者への補助

③集落の維持及び活性化

- 集落支援員の設置、集落点検や集落課題の話し合いの実施
- 移住・交流事業(インターネット広報や空き家バンク等)

④産業の振興

- 農業の担い手・人づくり対策、6次産業化
- 企業誘致・雇用対策(コミュニティビジネスの起業等)

<p>産業振興施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地場産業、観光、レクリエーションに関する事業を行う法人に対する出資 ○ 産業の振興を図るために必要な市町村道、農道、林道、漁港関連道 ○ 漁港、港湾施設 ○ 地場産業の振興に資する施設 ○ 中小企業の育成又は企業の導入若しくは起業の促進のために市町村が個人又は法人その他の団体に使用させるための工場、事務所 ○ 観光、レクリエーションに関する施設 ○ 産業の振興を図るために必要な市町村が管理する都道府県道 ○ 林業用作業路 ○ 農林漁業の経営の近代化のための施設 ○ 商店街振興のために必要な共同利用施設 	<p>厚生施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 下水処理のための施設 ○ 一般廃棄物処理のための施設 ○ 火葬場 ○ 消防施設 ○ 保育所及び児童館 ○ 認定こども園 ○ 高齢者の保健又は福祉の向上又は増進を図るための施設 ○ 障害者又は障害児の福祉の増進を図るための施設 ○ 診療施設 ○ 簡易水道施設及び簡易水道施設であった水道施設(平成19年度以降の簡易水道事業統合により、簡易水道施設でなくなったもの) ○ 市町村保健センター、母子健康包括支援センター
<p>交通通信施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通の確保を図るために必要な市町村道、農道、林道、漁港関連道 ○ 電気通信に関する施設 ○ 住民の交通手段の確保又は地域間交流のための鉄道施設及び鉄道車両並びに軌道施設及び軌道車両 ○ 交通の確保を図るために必要な市町村が管理する都道府県道 ○ 住民の交通の便に供するための自動車、渡船施設 ○ 除雪機械 	<p>教育文化施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館その他の集会所 ○ 公立の小学校、中学校及び義務教育学校並びに市町村立の幼稚園、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校 ○ 市町村立の専修学校、各種学校 ○ 図書館 ○ 地域文化の振興等を図るための施設 ○ 公立の小学校、中学校若しくは義務教育学校又は市町村立の中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校の学校給食施設・設備 ○ 公立の小学校、中学校若しくは義務教育学校又は市町村立の高等学校、中等教育学校若しくは特別支援学校の教職員住宅

市長公約である、「住み続けられる地域づくり」

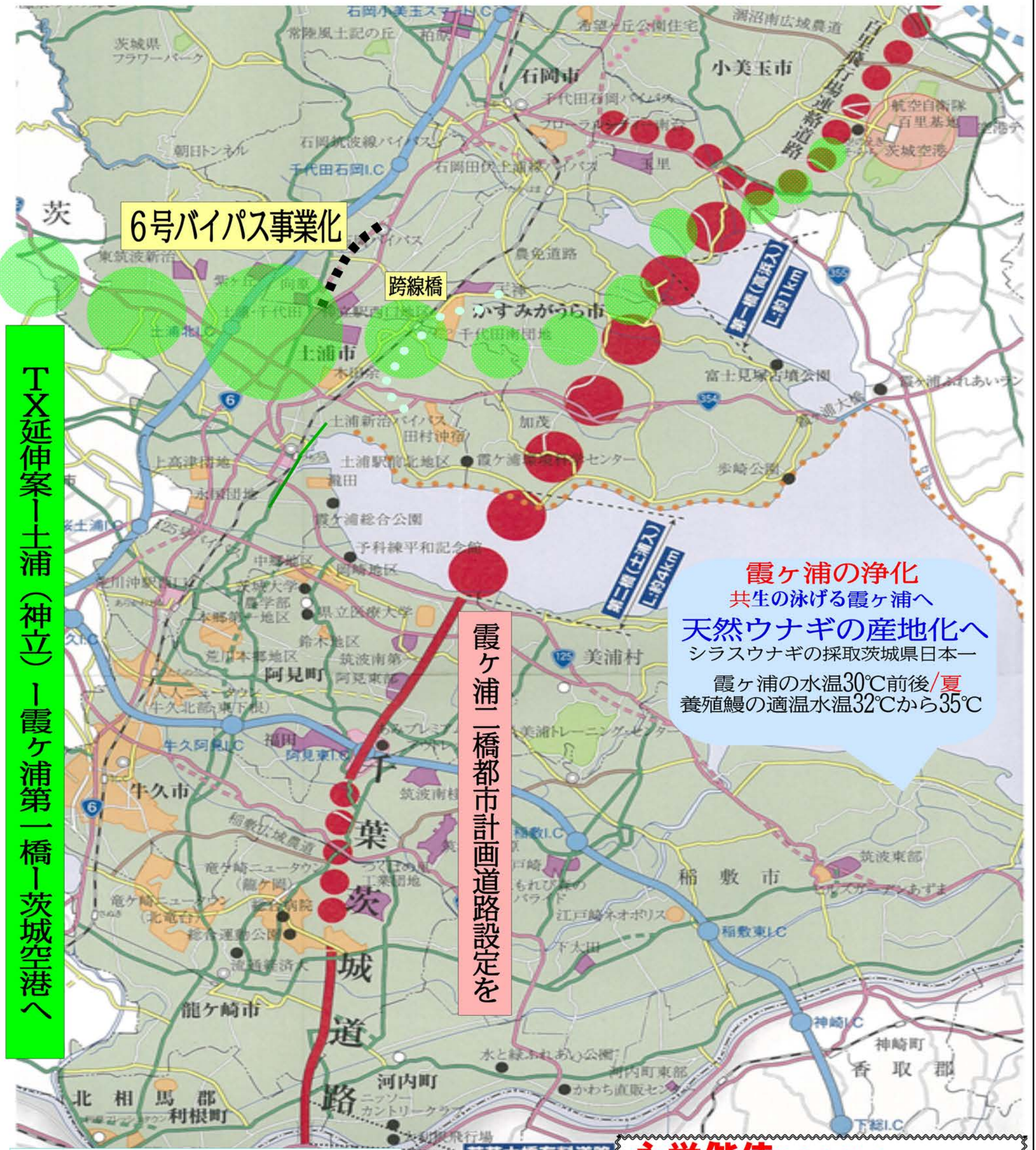
旧小学校区ごとに交流拠点・避難所確保、見守り強化」のコミュニケーションデザインを地域毎に描き出して参りましょう。

TX土浦延伸→霞ヶ浦二橋並進→茨城空港へ 霞ヶ浦二橋の都市計画道路設定を!

- ◎ 百里飛行場連絡道路の南進⇒第一橋1Km⇒県道穴倉玉里線
- ◎ 千葉茨城道路の北進⇒美浦地区⇒第二橋4Km⇒土浦協同病院
- ◎ 首都直下型地震等の救出・救命・防災・防衛/国策道路
- ◎ 地域振興道路 沿線整備・活性化事業

東京⇒習志野駐屯地⇒霞ヶ浦補給所⇒百里基地⇒勝田駐屯地⇒東北

※霞ヶ浦二橋（第一橋：高浜入り）とTXの並進



TX延伸案―土浦(神立)―霞ヶ浦第一橋―茨城空港へ

6号バイパス事業化

跨線橋

霞ヶ浦二橋都市計画道路設定を

霞ヶ浦の浄化
共生の泳げる霞ヶ浦へ
天然ウナギの産地化へ
シラスウナギの採取茨城県日本一
霞ヶ浦の水温30℃前後/夏
養殖鰻の適温水温32℃から35℃

地図：霞ヶ浦二橋建設促進同盟構想図より抜粋

若草大橋有料道路